

週刊 タバコの正体

2020年喫煙所に起きている変化

1

以前は数多くあった喫煙所も、健康増進法や、コロナの影響で減らされるばかり…

2

数が減らされ、遠くなった喫煙所は、タバコを吸うための移動時間や、待ち時間が極端に増えている状況…

3

数少ない喫煙所は常に混み合っていて、密集状態…

その変化がもたらす、喫煙所の新たな課題



並ぶことによる時間のロス

喫煙室までの往復の移動時間。そして喫煙室の前で、入る為に並ぶ時間。タバコを1本吸うために多くの時間を要する。



並ぶ列が占有するスペース

仮に20人程度並ぶ場合は約40mのスペースが必要。とても広いスペースを要する。



密集による感染リスク

廊下という決して換気が良好とは言えない場所や、人が近距離で密集する喫煙室内。感染リスクは喫煙者のみならず、非喫煙者や、その他多くのリスクをはらむ。

TERAMOTO 「SMOKINGSITE」サイトから

新型コロナの感染拡大とその予防対策のため、私たちの生活様式は少なからず変化しました。上図は、ある会社の商品紹介サイトに掲載されている、そんな変化の一例です。このサイトでは、コロナの影響で喫煙所が少なくなり待ち時間が増え、時間やスペースのロスが増えているうえ、密集して感染リスクも高くなっていると指摘し、そんな課題を解決するためのサービスを提案しています。



実際、都会のオフィスビルでは写真のように喫煙室に入るために行列ができています。コロナ禍においては、タバコを吸うために、こんなに労力が必要になっているのです。

だから、やっぱりタバコは吸い始めない、そして吸っている人は禁煙する事が一番ですね。

産業デザイン科 奥田 恭久